

# 学校再編は広く深い議論が必要

学校再編の答申が提出されました。

委員会に町長から求められた意見は学校数と位置です。

答申は菅谷小・菅谷中の敷地に小学校1校・中学校1校。

これは2通りの考え方ができます。

●菅谷小あるいは菅谷中の敷地に小学校1校と中学校1校。

●菅谷小の敷地に小学校1校、菅谷中の敷地に中学校1校。

嵐山町は、庁内プロジェクトチームを設置し、コンサルタントに

「嵐山町立小中学校再編基本方針策定」委託を予算化。



「駅東側から学校がなくなる」大きな転換は、地元で十分に協議して進めてほしい。

課題：子どもの育ちの保障（居場所を含める）・財源・交通・北部の過疎化

全国での学校統廃合の加速は、少子化政策ではなく、財源対策です。

「少人数学級は進めたいが、少人数学校は廃校」政策に対して

「小規模特認校」制度があります。

■通常の通学区域に特色ある教育活動を行う小規模校(小規模特認校と町が指定)へ町内全区域から通学を認める制度です。

■北部地区に小規模特認校制度を活用する方法があります。現通学区域の子どもは現学校に通学します。地域の方の合意が必要です。

■少人数での集団教育は不安な方もいます。

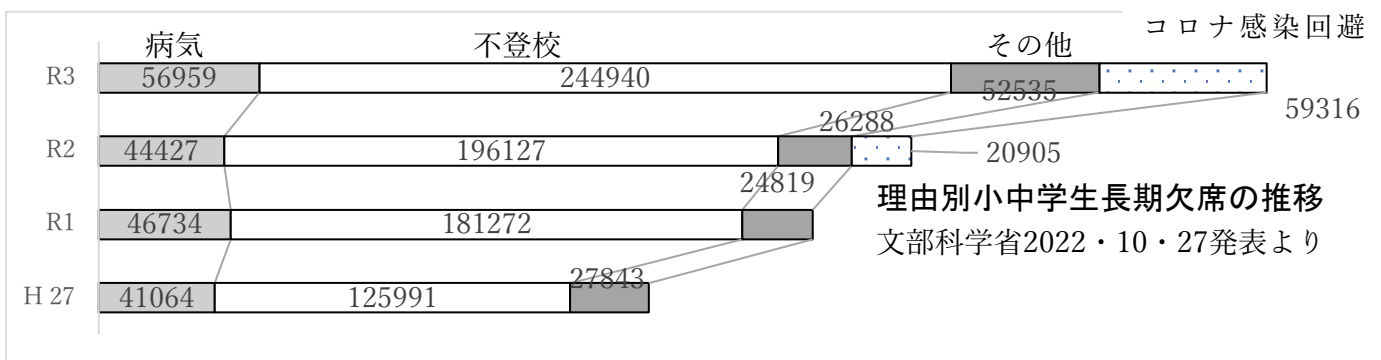
■農業体験、溜池の環境、外国語教育などの特色のある学校教育ができ、少人数教育による豊かできめ細かい学習が可能です。

■滑川町の福田小学校が来年から小規模特認校です。埼玉県では飯能市に小規模特任小学校が3校、中学校は1校(小・中学校)、八潮市に1校、春日部市で小中学校、羽生市に1校、朝霞市に中学校1校あります。

学校が小さいと教育に支障？ 不登校の小中学生が増えています

長期欠席・41万3750人うち不登校 24万4940人(小学生8万1493人、中学生16万3442人)

教員の過重労働で教員不足・学校教育を見直す必要があります。



渋谷とみ子  
〒355-0227  
埼玉県比企郡嵐山町千手堂39-46 TEL / FAX 493-62-7997  
[HTTPS://space.tom-shibuya.com](https://space.tom-shibuya.com)  
Email [shibuyatomiko@gmail.com](mailto:shibuyatomiko@gmail.com) (アドレス変更しました)

